



記者配布資料

平成23年7月5日

大阪経済記者クラブ会員各位

【問合せ先】大阪商工会議所 人材開発部
研修担当 松井・小山
Tel 6944-6421

「後継者・幹部育成塾」の開催について

- 大阪商工会議所は、中堅・中小企業の人材育成を支援する連続講座「後継者・幹部育成塾」を8月23日から開講する。同塾長には大手外資系企業で人事部長を歴任した立命館大学経営管理研究科教授の佐藤修氏を迎え、来年3月まで計8回、演習ディスカッション形式の例会を開催する。
- 同塾の特徴は、①塾長と塾生の対話を重視した講義により、企業経営に欠かせない「人と組織」について理解を深める。②企業経験が豊かでプロの経営人材コーチでもある塾長の「幹部コーチング」を通して、塾生に次代の経営者としての「気づき」を促し、その成長を支援する。③後継者や、経営者を目指す幹部に、交流・ネットワーク形成の場を提供する——の3点。
- 塾長の佐藤修氏は、日本IBM(株)、IBM(米国の親会社)、日本トイザラス(株)、(株)ナイキジャパンといった大手外資系企業で人事部長を歴任し、平成18年から立命館大学経営管理研究科教授に就任した。現在は企業等に組織変革を中心とした経営指導を行う傍ら、エグゼクティブ・コーチングによる、事業承継におけるリーダーシップ開発を行っている。
- 中堅・中小企業経営者の高齢化が進む中、事業承継・後継者の育成は大きな課題となっている。そこで大商では、中堅・中小企業の後継者を対象に、演習ディスカッションを中心とした後継者練成「燃焼塾」(塾長：井戸和男氏、元天理大学理事・教授)を平成8年から22年まで15年実施し、延べ437名の塾生を輩出してきた。こうした事業は大阪では珍しく、大商独自の事業として、過去の参加者からも高い評価を得てきたが、今年から開講する「後継者・幹部育成塾」では、新たにコーチングの視点を加え、後継者以外の経営幹部にも対象を広げて、特に企業経営に欠かせない「人と組織」のあり方にポイントを置いたプログラムで実施する。

[参考] 大商では、企業人材の育成に資する各種講座・講習会を開催している。経営者から新入社員までの階層別、また営業、経理、人事、総務など担当・分野別のほか、適宜、会員ニーズに応じた講座も企画・開催している。平成22年度は117講座を開催し、3,219人が受講した。

以上

<添付資料> [「後継者・幹部育成塾」ホームページ](#)